

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（ALPS 処理水の海洋放出時の運用等）に係る面談
2. 日時：令和4年12月2日（金）13時00分～16時00分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、岩永企画調査官、澁谷企画調査官、正岡企画調査官、

大辻管理官補佐、松田室長補佐、小西係長、塩唐松係長

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 2名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 7名（うちテレビ会議システムによる出席6名）

#### 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、11月21日の特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合にて議論した実施計画の変更認可申請（ALPS 処理水の海洋放出時の運用等）について、資料に基づき以下の説明があった。
  - 少量での放出に関する記載の変更
  - 核種選定の考え方
    - ✓ 分析数の少ない核種の考え方について
    - ✓ AP, FP 核種のインベントリ評価の不確かさについて
    - ✓ 手順5で告示比1/100以上の検出値がないものの、測定・評価対象核種とした核種について
- 原子力規制庁は、上記の説明内容を確認するとともに、今回説明を受けた核種選定の考え方について次回会合にて議論することを伝えた。

#### 6. その他

資料：

- ・福島第一原子力発電所 特定原子力施設への指定に際し東京電力株式会社福島第一原子力発電所に対して求める措置を講ずべき事項について等への適合性について（ALPS 処理水海洋放出後の運用体制及びALPS 処理水海洋放出時の測定・評価対象核種について）補足説明資料
- ・告示濃度総和比較（暫定版）
- ・少量での放出に関する記載の変更理由